

岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターの取組み状況

第三者承継の事例

加子商店

株式会社澤商

譲渡側と譲受側の両者の思いが一致



岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター
サブマネージャー 杉山 昭彦

相談に至るまで

加子商店の経営者の中村さんは、ねじや工具卸売の事業を義父より受け継いで35年間家族の協力を得ながら経営しておりました。先代が関係を築いたお得意先がありましたので屋号は変えずに引継ぎし、その後岐阜市およびその近郊の取引先を徐々に増やし、安定した経営を続けていきました。中村さんは仕事に没頭する

忙しい毎日を通り、事業承継については特に意識することもなく、送られてくるDMや案内にも目もくれませんでした。

しかしながら気づけば80歳が目前となり、少しずつ体力の衰えを感じ先行きについて不安を感じるようになりました。いざれ廃業するだろうと漠然とした思いはありましたが、お世話になった取引先の方が頭をよぎり中々考えがまとまらずにいた頃、岐阜商工会議所から「事業承継診断アンケート」が届き、少しでも不安や迷いが晴れたらと思いつつ相談を申込みました。

相談から取組み開始まで

岐阜商工会議所から支援の依頼を受けたセンターは早速事業所に赴き、中村さんや家族の方々と面談しました。そこで加子商店の状況や中村さんの意向をお聞きしていると、随所に取引していただいているお客様に迷惑かけたくないとの強い思いが伝

わってききましたので、その思いを遂げるには廃業ではなく、どなたかに事業を引き継いでもらうことが一番だと第三者承継を提案しました。

そこで今回の第三者承継は事業譲渡であり、そのスキームや手順ならびにセンターとしてできる支援について説明をしました。ただ中村さんは自分が個人事業主で事業規模が小さいことや取引先の多くが小規模であることから、引き継いでくれる先があるだろうか不安に思っており、初めのうちは半信半疑で聞いていました。しかし売上は安定しており、利益も十分確保していたことや取引先からの信頼も厚いことがわかりましたので、事業譲渡は可能だと判断し中村さんにとにかくトライしてみようと呼びました。

中村さんから「よくわかりました。よろしく願います」との言葉をいただき、意向が確認できたことから第三者承継への取組みが始まりました。

取組みから決断まで

ねじの種類は膨大かつ多種多様であり、その中から顧客の要望に合ったものを選択し納入しなければならないため、どうしても幅広い知識と経験を必要とすることから相手先は同業者に絞って選定することとしました。このことは中村さんも考えは一緒でした。

そんな中で岐阜市の同業者である株式会社澤商に打診したところ、興味を持たれたようだったので即座に社長の高橋さんと面談しました。株式会社澤商は経営自体は順調ではありましたが、新規取引先の獲得については中々成果が上がらず苦労していることがわかりました。高橋社長は現状維持の経営に危機感を持っており、何とかこの状況を打開したいとの要望を抱いていたことから、事業譲受を提案しました。

こうした中で両者を引き合わせたところ、基本的な意向が合致していることが確認でき、既知の間柄でもあったことが功を奏し話は円満に進みました。

中村さんは高橋社長の考えや会社の状況を聞き「澤商さんなら取引先を引き継いでも安心して任せられる」と譲渡を決断しました。その後の譲渡の進め方や条件の決め方から契約書の作成に至るまで当センターで適宜サポートをしたことによりスムーズに譲渡契約にたどり着くことができました。

引継ぎ後の状況

高橋社長は譲受に際して「加子商店の顧客は引継ぎ後も同様に澤商と取引を続けてくれるだろうか」という一抹の不安がありましたので、中村さんには当面会社に残ってもらうことにしました。譲渡契約後に中村さんは高橋社長と取引先1軒1軒にあいさつに回ったほか、しばらく営業担当者とも同行してフォローをしたことからほとんどの取引先との関係は維持できました。

中村さんは取引先が安心して取引を続けられると喜んでいてのを見て、



加子商店

〒504-0957
各務原市金属団地143
事業内容
ねじ、作業用工具の卸売業



株式会社澤商

〒500-8288
岐阜市中瀬2-74
事業内容
機械工具、工作機械の販売

安堵するとともに心から譲渡してよかったと強く思ったようです。

また高橋社長は今回の譲受で取引先の増加による売上増大に期待していましたが、それは別に社員が新しい取引先を担当することになって、積極的に提案するなどより前向きに仕事に取り組む姿勢に変化していったという想定外の効果を生んだことに喜びを隠せない様子でした。

また、引継ぎがほぼ完了した時には中村さんが「ありがとうございました」と涙ぐみ、お礼を言われた高橋社長はそのことに感銘し、引き継いだお客様を大切にしようとの意を強くされたようです。

今回は互いの考えが一致し思いが叶った譲渡であり、両者が心から喜ばれた事例でした。

センターは今後もこうした事業引継ぎが実現できるよう相談者に寄り添いながら支援に取り組んでまいります。